

海外視察 in カンボジア

実施報告書

<運営企業>

公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会

一般社団法人東京ニュービジネス協議会

<日程>

2024年9月7日（土）～11日（水）

目次

- I 参加者名簿
- II 概要
- III 渡航費用
- IV スケジュール
- V 視察内容&レポート
- VI 参加者アンケート

I 参加者名簿

26名+事務局2名 計28名（敬称略）

	氏名	NBC 役職	会社名（学校名）	会社役職
1	井川 幸広	東京 NBC 会長	株式会社クリーク・アンド・リバー社	代表取締役会長（CEO）
2	深沢 栄治	東京 NBC 副会長	株式会社光・彩	代表取締役社長 CEO
3	長谷川 博和	JNB 副会長	早稲田大学	教授
4	濱田 典保	三重 NBC 会長	株式会社赤福	顧問
5	那珂 通雅	東京 NBC 副会長	ボードウォーク・キャピタル株式会社	CEO
6	徳田 充孝	東京 NBC 副会長	株式会社 Dstyle ホールディングス	代表取締役会長兼社長
7	和田 正	東京 NBC 副会長	桜川協和法律事務所	弁護士（日本国・ニューヨーク州）／中小企業診断士
8	辰野 元信	東京 NBC 理事	株式会社 Univein	代表取締役社長
9	高橋 卓	東京 NBC 理事	CXO 倶楽部株式会社	代表取締役
10	津嶋 栄	東京 NBC 理事	株式会社日本経営センター	代表取締役
11	平井 由紀子	東京 NBC 特別理事	株式会社セルフウイング	代表取締役社長
12	大村 貴康	東京 NBC	Enjin 株式会社	代表取締役
13	西川 眞史	東京 NBC	株式会社キュービット	代表取締役
14	山本 修義	東京 NBC	株式会社プラス	代表取締役
15	荒木 杏奈	東京 NBC	アンナアドバイザーズ株式会社	代表取締役
16	小林 けん	東京 NBC	株式会社金太郎 Cells Power	執行役員 CBO／ (株)ALEX 代表取締役
17	笹沢 竜市	東京 NBC	タウンライフ株式会社	代表取締役社長
18	橘 健吾	東京 NBC	東京大学／株式会社 Essen	D3／代表取締役
19	田村 俊夫	高知 NBC	株式会社ワークショップ	代表取締役社長
20	中尾 剛	東京 NBC	株式会社 ファーストパートナーズ	代表取締役
21	中島 佑樹	東京 NBC	株式会社ソリューションバンク	代表取締役
22	西尾 秀俊	東京 NBC	株式会社西尾	代表取締役社長

23	西尾 昌樹	東京 NBC	合同会社 revive	代表社員
24	早川 由紀夫	東京 NBC	株式会社ジョイカルジャパン	代表取締役社長
25	福田 雅治	神奈川 NBC	東豊インベスト株式会社	代表取締役
26	槇島 正夫	神奈川 NBC	株式会社マキシマム・テクノロジー	代表取締役社長

II 概要

日程：2024年9月7日（土）～11日（水）

人数：28名

宿泊先：Sofitel Angkor Phokeethra /Citadines Flatiron Phnom Penh 他

主催：東京ニュービジネス協議会／ニュービジネス協議会連合会

III 渡航費用

180,449円／人（宿泊、食事、バスチャーター、ガイド費等）※航空券別途手配

IV スケジュール

海外視察inカンボジア 2024年9月7日(土) - 9月11日(水)						
日付	時間	スケジュール	備考	宿泊先	食事	
1日目 9月7日 (土)	日中	各自カンボジア渡航				
	18:00	ー移動ー	専用バス			
	19:00	チェックイン		Angkor Phokeethra Golf & Spa	朝：各自機内 昼：各自機内	
	20:00	視察団夕食会	会場：Citadel (ホテル内レストラン)		夜：○	
	22:30	<Sofitel Angkor泊>				
2日目 9月8日 (日)	9:00	ホテルロビー集合				
		ー移動ー	専用バス			
	9:30	アンコール・トム観光				
	12:40	昼食	会場：CRYSTAL		朝：○	
	14:00	アンコール・ワット観光			昼：○	
	16:00	ホテル戻り各自鞋履・休憩	交スバのシャワー利用可能		夜：× (ホテル内・ 周辺で各自)	
	17:30	ー移動ー	専用バス			
	19:00	案内移動 空港到着				
	20:40	プノンペンへ飛行機移動 20:40-21:25	2 K6 108 08SEP シェムリアップ - プノンペン 2040			
	21:25	ーホテル移動ー				
		<Citadines Flatiron Phnom Penh泊>				
3日目 9月9日 (月)	9:00	ホテルロビー集合				
		アンナアドバイザーズ・メリディアン カンボジア	会場：Citadines28階会議室～10:15			
	10:30	ー移動ー	専用バス			
	11:00	Jタワー2 内覧	～11:50			
	11:50	ー移動ー	専用バス			
	12:00	Jタワー3 ショールーム内覧&谷社長プレゼン	～原食会場13時までに間に合うように出発			
	13:00	ランチ	会場：Pizza 4P's (予定) ※現地清算		朝：○	
		ー移動ー	専用バス		昼：現地清算	
	14:30	カンボジア商業大臣Nimul Cham氏の表敬訪問	～15:00(調整中)		夜：○	
		15:15	ー移動ー			
	16:00	【WAOJEプレゼンツ】16:00 Sonatra microfinar	WAOJEとは、海外を拠点とする日本人起業家ネットワ			
	17:30	WAOJEパネルディスカッション	会場：MALIS (カンボジア料理)			
		夕食会 (WAOJEメンバー含む)				
	21:00	ホテル着				
		<Citadines Flatiron Phnom Penh泊>				
4日目 9月10日 (火)	9:30	(チームA) ホテルロビー集合				
	10:30	(チームB) ホテルロビー集合				
		ー移動ー				
	10:00	(チームA) サバタナ銀行訪問 (20名)	～12:00			
	11:00	(チームB) イオン(センソックシティ)訪問 (8名)	～12:30			
	12:30	ランチ **合流場所・時間確認**	会場：イオンセンソックにて自由行動		朝：○	
	13:30	ー移動ー	ここからバス1台で移動		昼：現地清算	
	14:00	KURATA Pepper視察	～15:20		夜：○	
	15:30	ー移動ー				
16:00	CJBI カンボジア日本ビジネス投資協会 ミニセミナー	会場：CJCtopaz18時開始に間に合うように移動				
	18:30	夕食会 (韓社長、カンボジア留学生会数名)	会場：TOPAZ (フランス料理)			
	21:00	ホテル着				
		<Citadines Flatiron Phnom Penh泊>				
5日目 9月11日 (水)	4:45	ゴルフ組 ホテルロビー集合				
		ー移動ー				
	6:30	ゴルフコンペ(11名)	専用バス			
		9:15	観光組 ホテルロビー集合			
		ー移動ー	専用バス			
		13:30	プノンペン市内観光			朝：○
		14:30	ー移動ー	合計人数確認		昼：現地清算
		15:30	プノンペン国際空港着			夜：各自機内
		L 17:45発 ベトナム空港 L 18:40発 シンガポール航空 L 19:25発 タイ航空				
	翌朝	各自解散				

V 視察内容&レポート

9月7日（土）【視察団夕食会】

参加者が全国から、タイ・シンガポール・ベトナムを経由してカンボジア集合し、初日は決起会の夕食会のみ開催いたしました。

現在日本からカンボジアへの直行便はなく、フライト時間は6～7時間。

前後の移動や手続きを含めると10時間以上の長旅となり、参加者同士道中を一緒に過ごすことでカンボジアにつく頃にはすっかり打ち解けて和気あいあいとされていました。

夕食会の挨拶で、団長の深沢副会長が「海外視察を共にすると、その先の一生の友人になります」と話されていた通り、視察を通して参加者同士の交流も深まることを期待します。

夕食会のゲストとしてカンボジア日本人会会長の小市琢磨様もご参加いただき、カンボジアビジネスについてご自身のご経験やポイントなどをお話いただきました。

カンボジアは大変親日な国である一方で、まだ発展途上であること規制などが整備しきれていないことによる弊害などもあり、現地で長くビジネスをされている方の実体験は大変勉強になるものでした。



9月8日（日） 【世界遺産「アンコール遺跡群」訪問】

カンボジアが世界に誇る遺跡、アンコール・トムとアンコールワットを訪れました。

かつてこの地に強大な国を展開したアンコール王朝が、数百年をかけて築いた建築物ですが、今ではその多くがうっそうとした密林に覆われています。

アンコール遺跡群の中でも必見の「アンコールワット」と「アンコール・トム」を中心に見学しました。

クメール文明が残した神秘的な遺跡の数々は息をのむ迫力で、クメール王朝の歴史をガイドの方に説明していただきながら、その繁栄と衰退まで遺跡を通して知ることができました。

さらに王が変わると信仰する宗教も変わったとのことで、ヒンドゥー教と仏教の要素が混在している見れば見るほど面白い発見がある建物でした。

午後に訪れたアンコール・ワットでは突然のスコールによって遺跡の中でしばらく雨宿りをするというハプニングがあったものの、アンコールワットは巨大な遺跡。引き返すこともできず最後の力を振り絞りゴール地点までたどりつきました。

明日からの企業視察に備え、夜のうちに首都プノンペンへ移動をいたしました。



9月9日（月）【プノンペン市内視察①】

プノンペンのプログラムから新たに9名が加わり、企業訪問を中心に視察を行いました。

1日で7か所まわるという過酷なスケジュールとなりましたが参加者の皆様が高い意識と興味を持ちながらプログラムに取り組んでくださいました。

視察内容は以下の通り。

① アンナアドバイザーズ荒木社長&メリディアンコウ社長

→カンボジア概要説明&不動産投資、工業地帯の誘致について。

② メリディアン・オフィス内覧

→首都プノンペンのオフィス事業を見学



③ Jタワー2見学&Jタワー3 ショールーム内覧

★Pizza 4P'sにてランチ

→日本人オーナー（益子陽介さん）がベトナムに立ち上げたピザレストラン。現在はグローバルに32店舗を展開。

※2018年グローバル大賞海外アントレプレナー賞受賞 <https://www.nbc-world.net/honors/global/g2018>



④カンボジア商業副大臣 BUON Sarakmony 氏の表敬訪問

→30 分の訪問予定でしたが、NBC 側からの質問に丁寧にお答えいただき、最終的に 1 時間半も意見交換をさせていただきました。

副大臣だけでなく、多くの官僚、職員の方が同席され NBC への期待の高さを感じました。

日本企業に求めるもの、期待するものを具体的に回答いただいた他、もっと NBC 会員のことを知りたいと、なんと急遽明日の夕食にも参加いただくことに。



⑤Sonatra microfinance institution PLC (WAOJE 企業)

→カンボジア国内にて、低所得の個人への融資や中小企業の支援を強化してマイクロファイナンスのサービスを行っている企業。

⑥JAPAN SHOP (Daishin Trading) (WAOJE 企業)

→カンボジア市場における日本食品・飲料のリーディングカンパニー。

カンボジアで 1,000 種類以上の日本食品飲料を販売しており、カンボジアの食品業界に清潔で健康的、そして信頼できる製品を提供し、貢献している。

インフルエンサーを活用した PR も力を入れているとのことで、参加者の皆さんとの協業なども視野に質疑がされていました。



⑦WAOJE パネルディスカッション

→夕食会会場にて、6名の日本人経営者が「なぜカンボジアで起業をしたのか」「カンボジア事業のメリット・デメリット」を赤裸々にお話くださいました。

WAOJE プノンペン支部から10名も参加いただき合同夕食会も大変な盛り上がりには。

現地の経営者ネットワークだから知っているカンボジアの情報やビジネスをする上での注意すべき点など皆様それぞれで内容の濃い会話をされているようでした。

WAOJE との連携を通じて、世界中の日本人経営者と繋がり情報を共有出来ることを改めて実感し、今後の海外視察でもその土地の WAOJE 経営者の皆様との交流をしていきたいと思いました。



9月10日（火）【プノンペン市内視察②】

プノンペン2日目。この日もプログラムが盛りだくさんでした。

午前中は、2グループに分かれて視察先を訪問しました。

①サタパナ銀行訪問

NBC 会員でもあるマルハングループがカンボジアで展開をするサタパナ銀行に訪問。

韓社長も現地でお会いすることができ、一緒にカンボジアの概況のプレゼンテーションを聞きました。

カンボジアの経済状況と今後の見通しについてや、金融市場について。

銀行目線でお話いただくことで、皆さんも話の理解がしやすくカンボジアで展開ができる事業と逆に今の市場では参入ができない事業を具体的にイメージされているようでした。

プレゼンの後は、サタパナ銀行タワーの見学をいたしました。



②イオンセンソックシティ訪問

もう1グループは、カンボジアで4店舗を展開するイオンモールの一つを視察。

こちらはカンボジアの消費動向や、イオンがその中でどのようなポジショニングで展開をしているかなど

銀行とは違う目線で、経済についてお話いただきました。

お話を伺った後は、モールの見学へ。数多くの日本ブランドも店舗を構えていました。



③KURATA Pepper 視察

午後の1件目は、カンボジアで30年事業を続けている KURATA PEPPER さんを訪問。

2013年のグローバル大賞海外アントレプレナー賞を受賞されています。

倉田さんの、カンボジアへの愛情と情熱は30年経っても変わることなく

今もコツコツと土地に根付いた事業をされています。

本当にこだわって作り上げたコショウは、カンボジア国内だけでなく日本にも世界にも輸出されて数ある有名店でも採用されています。



④CJBI カンボジア日本ビジネス投資協会

この視察最後の訪問先は、カンボジアのスタートアップ企業のプレゼンテーションを聞きに

CJCC（カンボジア日本人材開発センター）が運営する、CJBI へ。

この施設は日本政府・JICA・カンボジア政府が共同で運営しています。

2社の若い起業家がプレゼンを行い、質疑も大変盛り上がりました。

●CODE CLANS Co., Ltd. Mr. MIN Phannarak Managing Director

Web 開発、モバイル アプリケーション、UI/UX デザイン、IoT 開発を専門とする、カンボジアを拠点とするワンストップ IT 開発サービス プロバイダー

<https://ccbcic.org/business/285/code-clans-co-ltd>

●Vissar Medical & Nursing Center Ms. PROM Sophea General Manager

カンボジアでシニア向けヘルスケアを専門とする医療提供者のグループ。将来的な高齢化問題やシニアケアの雇用機会の提供に取りくむ

<https://vissarhealthcare.com/about-us/>



⑤夕食会

最後の夕食会は、フレンチの名店 TOPAZ で行いました。

ゲストには前日に意見交換を行った、商業副大臣 BUON Sarakmony 氏を含む 3 名の政府関係者と、日本留学生会のメンバー 3 名をお招きし

最終日の夜は、これまでのカンボジア視察の振り返りを行いました。

途中、参加全員が一言ずつ副大臣に対して、自身の事業とカンボジアでのビジネス展開に関する提案を行い、視察後の取組にもつなげることができました。

カンボジアで過ごした濃密な時間で参加者同士の仲も深まり、お互いの事業についても理解することができたことで帰国後も数多くのコラボレーションが生まれることと思います。



9月11日(水)【自由行動・帰国】

最終日は視察プログラムは無く、ゴルフコンペ、プノンペン観光のほか、現地の知人との MTG など参加者それぞれが最後のカンボジアを堪能いたしました。

まとめ・今後の関係について

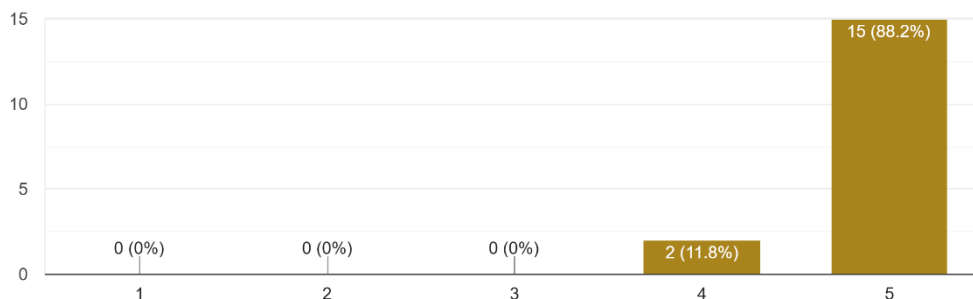
5日間のカンボジア視察を通じて、日本と似ている景色、そして大きく異なる景色の両方を感じることができました。カンボジアは歴史と共存し、それを大切にす文化を持っています。歴史的な建造物と近代的な高層ビルが共存し、夜にはネオンが輝く都市の風景は、日本の都市部とどこか似た雰囲気を感じさせます。一方で、最も印象的だったのは、街全体にあふれる若いエネルギーでした。カンボジアは平均年齢が非常に若く、街を歩けば活気ある若者たちの姿が目に入ります。その明るさと勢いには、日本とはまた違ったダイナミズムがありました。

カンボジアでは、日本企業の進出が国を挙げて求められていると感じました。スタートアップの芽も多く、若い起業家たちは、日本の経営経験やノウハウを学ぶことに強い関心を持っています。この若い国が、これからどのように発展していくのか非常に楽しみです。その発展の過程で、NBC や NBC の会員企業が一役を担うことができるよう、引き続きカンボジアとのコミュニケーションを継続し、連携を深めていきたいと感じました。今回の視察を通じて得た気づきやご縁を、今後の具体的なビジネスの機会へとつなげていきたいと思ひます。

VI 参加者アンケート

回答数 17 件（26 名中）

視察全体の満足度
17 件の回答



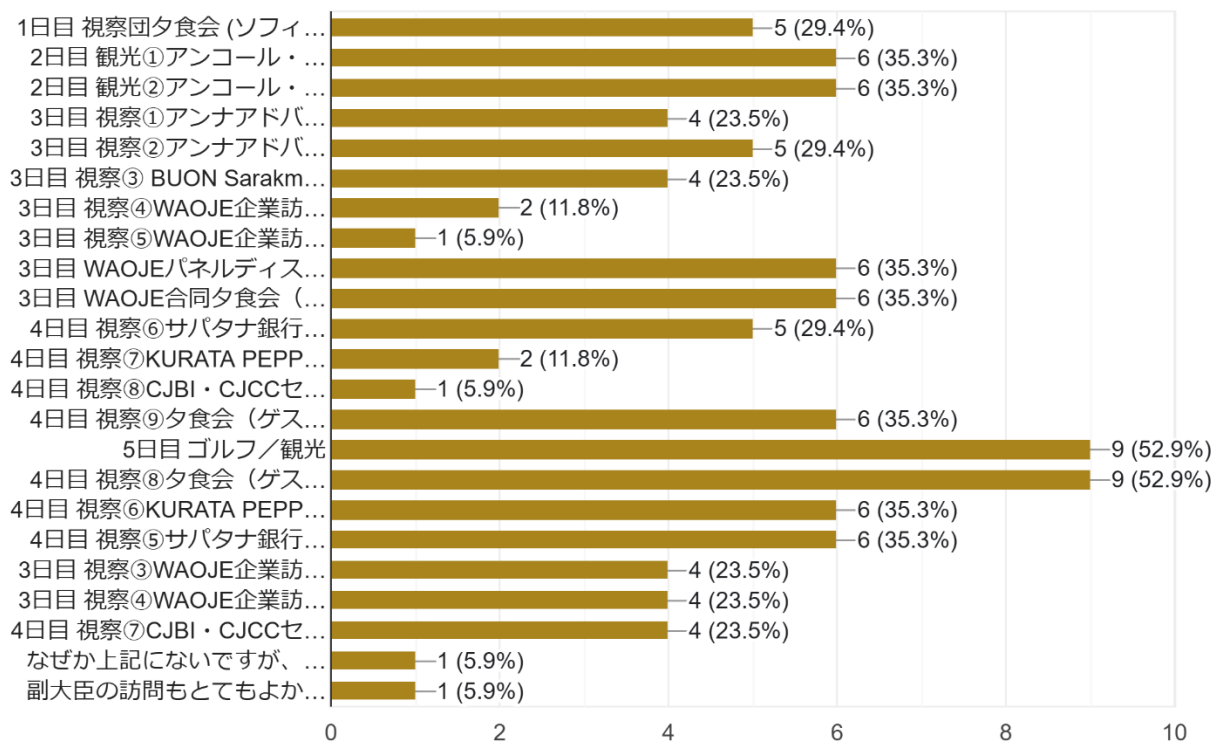
※ 1 不満～5 大変満足

【視察全体に関する感想（一部抜粋）】

- カンボジアは初めてだったので、企業視察などがすごく参考になりました。銀行の視点が特に参考になりました。（経済規模、どういう産業があるか、周辺諸国と比較しての自国の立ち位置など）。
- 旅行会社のツアーでは絶対会えない方々に会えて、分刻みでスケジュールもびっちり組まれていて、NBC のメンバーの方々とも仲良くなれて、とても充実の旅でした。
- 密度高くカンボジアについて学べ、また繋がりを創出することができました。ありがとうございました。
- 視察前にオンラインにて自己紹介セッションやディスカッションセッションがあると孤立する人が発生せずより実りある会になると思いました。

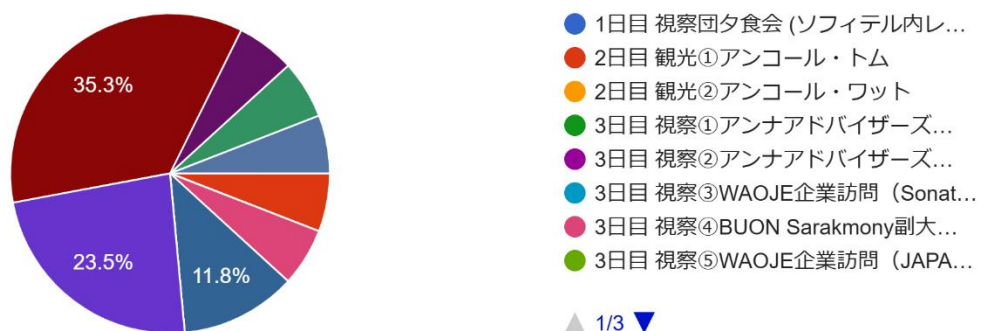
視察のプログラムの中で満足度の高かったものを選択ください（複数選択可）

17件の回答



視察のプログラムの中で【いちばん】満足度の高かったものを選択ください

17件の回答



【視察のプログラムに関する意見】

- 小国ならではかと思いますが、一介の経営者団体が、副大臣を訪問して夕食会までできるというはすごいと思いました。

- 副大臣にプレゼンする場があったので嬉しいです
- 企業視察はネットワークがあれば自分でも出来ますが、大臣面談は出来ないのも素晴らしい。
- カンボジアの経済情勢を歴史や客観的なデータから説明くださり、とても勉強になりました。
- カンボジア政府と濃い時間が過ごせたことはとても有益な時間となりました。
- 現地の日本人経営者のリアルな声を聞く事ができました。個人的には食事が一番美味しかったです。

【今後の視察に関する意見】

- スケジュールを1工程ずつ減らして、時間の余裕を作るのも宜しいかと思いました。
- 現地側のサポートスタッフは1名いた方が事務局的にも負担がかかりすぎず良いかと感じました。
- 投資や海外進出だけでなく、現地政府や企業などが何か技術の提携及び技術支援を求めているのか？事前に確認をした上での議論が出来るとなおよい。
- 双方向で意見交換ができるような仕掛け。会食時のお店選定（交流できる余裕がある広さ）があるとよい。
-

以上